

令和4年度事業報告書

公益財団法人 東京防犯協会連合会

報告事項 1

令和 4 年度東防連事業報告書

第 1 防犯部

1 地域安全活動の重点

令和 4 年度は、警視庁の指導の下、関係機関・団体と連携して下記の活動を地域安全活動の重点と定め推進した。

(1) 犯罪の起きにくい社会づくりの推進

- ア 警察、自治体との協働による「安全安心まちづくり」の推進及び街頭防犯カメラの設置や環境美化など地域環境の整備促進
- イ 防犯協会組織の活性化と世代を超えた防犯ボランティアの参加拡充及び他団体と連携した自主防犯活動の推進
- ウ 悪化する社会に対応した地域社会の絆の強化に向けた各種活動防犯対策の促進
- エ 広報誌「家庭と防犯」による積極的な地域安全情報の提供

(2) 都民の平穏な生活を脅かす犯罪に指向した防犯活動の推進

- ア 自治体、関係機関等と連携した幅広い広報啓発活動による特殊詐欺被害防止活動の積極的な推進
- イ 悪質な生活経済事犯及び生活環境事犯等に対する被害防止広報活動の推進
- ウ 変化する社会に対応した自主的な防犯パトロールの実施及び通信機器やメディアを活用した地域安全情報の提供等による効果的な防犯活動の推進
- エ 関係機関等との協働による安全で安心な盛り場の再生に向けた各種防犯活動の推進

(3) 少年非行防止・保護総合対策の推進

- ア 関係機関との連携による少年の規範意識の向上及び地域社会の絆の強化による非行少年を生まない社会づくりの推進
- イ 通学路点検等子供見守り活動による子供の安全確保対策の推進
- ウ 児童虐待事案及びいじめ等の関連情報提供の推進
- エ 不良行為少年等に対する補導活動の支援及び少年を取り巻く有害環境

浄化活動の推進

オ 保護者や学校等との連携による携帯端末等のフィルタリングの更なる普及とSNS等の利用に起因する被害防止活動の推進

カ 「東京少年柔道剣道錬成大会」、「東京少年野球地区大会」等の実施による少年の健全育成活動の推進

(4) 人の生命、身体の安全を確保するための広報啓発活動の推進

ア 子供や女性を対象とした各種犯罪に対する被害防止活動の推進

イ 声かけ、つきまとい等、犯罪の発生に起因する前兆事案等の情報収集活動の推進

ウ ストーカー、配偶者からの暴力、高齢者虐待等に係る被害防止広報活動の推進

(5) サイバー犯罪被害防止対策の推進

ア サイバー区間の脅威に対する知識の向上と犯罪被害防止に係る広報活動の推進

イ 関係機関との連携によるサイバーセキュリティ知識の向上と自主的な被害防止対策の推進

ウ クレジットカード情報の不正利用事犯及び電子決済サービスを悪用した事犯等被害防止活動の推進

2 各種会議の開催状況

(1) 通常理事会及び臨時理事会

ア 令和4年度第1回理事会を5月13日(金)グランドアーク半蔵門において実施し、「令和3年度東防連事業報告について」他6件の議案等が審議され承認された。

また、6月2日(木)臨時理事会を招集し、代表理事、専務理事及び常務理事選定」他1件の議案が審議され承認された。

イ 令和4年度第2回理事会を令和5年1月24日(火)にグランドアーク半蔵門において新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮して開催した。

重要事項の第1号議案から第7号議案まで慎重審議を行い原案どおり議決後、代表理事、専務理事及び常務理事の職務執行状況報告を行った。

(2) 定時評議員会

定時評議員会を6月2日(木)グランドアーク半蔵門において開催した。

「令和３年度東防連計算書類等報告について」他６件の議案の審議等がなされ承認された。

(３) 臨時評議員会

臨時評議員会を令和５年２月１０日(金)グランドアーク半蔵門にて開催予定のところ東防連事務局が警察総合庁舎の改築に伴う移転に関する議案１件であり参会により審議する議案ではないため書面により決議を行った。

(４) 事業報告会

令和５年１月２４日(火)グランドアーク半蔵門において、令和４年中の東防連各事業の結果報告や令和５年中の東防連行事予定等について事業報告会を実施した。

(５) 新年懇親会

令和５年１月２４日(火)グランドアーク半蔵門において、令和４年中の事業報告会終了後、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、賛助会員、友誼団体、生活安全部部内所属長不招致による縮小規模により、東防連顧問(歴代警視総監)、警視総監、副総監、生活安全部長、同参事官、同生活安全総務課長(代行：理事官)を囲んで実施した。

(６) 防犯協会長全体会議

令和４年９月７日(水)グランドアーク半蔵門において警視庁生活安全部の要請に基づき全国地域安全運動を効果的に推進するため、同運動に先がけて生活安全部長、生活安全総務課長出席の下、防犯協会長全体会議を開催、総崎生活安全総務課長から全国地域安全運動の具体的な進め方についての示達がなされた。

また、暴力団対策課暴力団排除担当管理官山寺警視から「最近の暴力団情勢について」の講話等がなされ好評であった。

(７) 方面別防犯連絡会議

全国地域安全運動終了後の１１月中に各方面の当番協会が防犯協会長、警察署長及び警視庁生活安全部幹部、方面本部長、担当管理官を招致して

- 運動期間中の推進結果や好事例の発表
- 同運動実施方法のあり方や反省検討
- 東防連からの連絡事項

等について防犯連絡会議及び懇親会を開催した。

(8) 地区防犯協会事務局長等連絡会議

4月26日(火) グランドアーク半蔵門において開催し、東京防犯協会連合会事務局からの指示、連絡事項及び2協会から防犯活動の好事例発表の後、生活安全総務課長を囲んだ懇親会を実施し地区防犯協会事務局員等相互の親睦と意見交換を行った。

(9) 各委員会の実施

警視庁生活安全部幹部等を招致し、法曹会館において下記の各委員会を実施した。令和4年の広報誌の編集方針や少年健全育成のための行事、犯罪予防のための優良防犯器具の審査、令和5年の活動計画の策定について審議した。

- 少年対策・広報合同委員会(6/15)
- 長寿社会対策・風俗環境浄化境浄化合同委員会(9/22)
- 防犯対策委員会(10/21) ○ 企画調査委員会(12/7)

第2 事業推進結果

令和4年度は、定款第4条に基づき、下記の事業を実施した。

1 防犯対策の調査研究

少年非行防止研究会の協力後援

9月上旬、(一社)東京母の会連合会が主催する「第37回少年の非行防止研究会」に参画するとともに同事業を後援していたが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研究会を中止し、会員から少年非行防止の意見を取りまとめ各会員、関係団体へ送付するとともに同意見を「家庭と防犯」11月号に掲載した。

2 防犯広報

(1) 広報誌「家庭と防犯」の充実による広報啓発活動の強化・促進

月刊広報誌「家庭と防犯」に地区防犯協会の活動や各種防犯ボランティアの活動状況等を幅広く掲載し活動を活発化する他、タイムリーな防犯情報等を発信するとともに防犯広報誌としての誌面の充実に努めた。また、犯罪を起こさせない街づくり対策をはじめ、少年の健全育成活動及び万引き防止・サイバー犯罪被害防止等のキャンペーン等を幅広く掲載するなど、防犯ボランティア活動の情報誌としてその内容の充実に図った。

(2) 各種防犯広報資料の作成配布

全国地域安全運動に使用するポスター、冊子、リーフレットの広報資料を作成配布し、都民の自主防犯意識の高揚を図った。

(3) ホームページによる広報活動

ホームページを通じて、広報誌「家庭と防犯」の案内、推薦防犯器具、各種防犯対策や東京防犯優良マンション・駐車場登録制度等について随時更新し広報活動を推進した。

3 防犯設備の整備拡充

(1) 防犯モデル地区活動の推進

令和4年度の当連合会の「防犯モデル地区」を下記の10地区

- 麻布防犯協会（1方面）
- 品川防犯協会（2方面）
- 目黒防犯協会（3方面）
- 杉並防犯協会（4方面）
- 石神井防犯協会（10方面）
- 蔵前防犯協会（6方面）
- 城東防犯協会（7方面）
- 小岩防犯協会（7方面）
- 田無地区防犯協会連合会（8方面）
- 八王子防犯協会（9方面）

の防犯協会を指定し、東京都の補助金（1地区300,000円）を活用し、防犯設備を整備するなど、防犯モデル地区の活動に寄与した。

各地区においては、補助金に自己資金を加え、懸垂幕及びのぼり旗の作成、電池提灯、ジャンパー、ベスト等の整備に努めるとともに、防犯パトロール活動等を活発に展開するなど防犯モデル地区として大きな成果を収めた。

(2) 東京防犯優良マンション・駐車場登録制度の促進

空き巣等の侵入窃盗に対応するため、「安全・安心まちづくり条例」制定による「住宅における犯罪の防止に関する指針」に基づき、防犯性能設計に配慮したマンション及び駐車場を推奨、普及を促進し、犯罪に強いまちづくりを目指していくことを目的として平成16年10月1日から運用を開始している。

この認定制度は、当連合会が定めた審査基準に基づき、委嘱を受けたNPO法人東京都セキュリティ促進協力会に所属する建物防犯の知識が豊富な防犯設備士等（総合防犯設備士等を含む）と一級建築士がペアとなって調査を行いその調査結果を受けて審査委員会が防犯優良マンションとして認定するもの。委託契約期間は3年とし審査員、調査員の委託期間も、3年で再更新を可能としている。

令和4年度は、「防犯優良マンション」としての新規申請は1件、更新申請は1件で7件の登録となっている。また、「防犯優良駐車場」は新規申請はなく更新申請6件で現在7件の登録となっている。

（３） 優良防犯器具の審査推薦

8月26日（金）、申請のあった2業者6品目の優良防犯器具に対し東防連事務局において、事前審査会を実施した。10月21日（金）、同6品目に対し「防犯対策委員会」で厳正な審査を行い、合格した器具を優良防犯器具として推薦し、各地区防犯協会に斡旋したほか、当連合会のホームページや広報誌「家庭と防犯」に掲載し優良防犯器具の普及促進に努めた。

（４） 防犯メッセージボード付自動販売機等の設置促進

防犯協会役員等の協力を得て効果的な防犯メッセージを発信できる防犯メッセージボード付自動販売機は18台（3/31現在）、防犯活動支援自動販売機は175台（3/31現在）設置されている。今後、さらに設置促進を積極的に推進し、情報発信と被害防止の広報啓発と各種防犯活動を支援していく。

4 防犯功労者等の表彰

防犯功労団体・個人表彰は、次のとおりである。

（１） 防犯功労者（団体）表彰 令和4年5月27日（金）

新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しつつ警視庁本部で規模を縮小して式典を実施した。

ア 警視総監賞

○ 防犯功労団体

中央防犯協会（会長：田中豊彦） 他 10協会

○ 功労ボランティア団体

中落合三丁目辻町会（戸塚） 他 4 団体

○ 防犯栄誉

大島義和氏（麴町防犯協会長） 他 19 名

○ 防犯功労

萬田和正氏（立川国立防犯協会長） 他 43 名

イ 生活安全部長・東防連会長連名表彰

○ 防犯功労団体

麴町防犯協会（会長：大島義和） 他 19 協会

○ 防犯功労

塚本良一氏（荏原防犯協会長） 他 537 名

○ 少年非行防止功労

小沢芳枝氏（万世橋母の会） 他 142 名

○ 地域安全運動功労団体

新橋二丁目町烏森町会（愛宕） 他 761 団体

○ 地域安全運動功労（個人）

中村桂子氏（野方） 他 478 名

ウ 生活安全部長表彰

○ 防犯対策推進功労

《質屋業》 寺下典寛氏（巣鴨） 他 7 名

《古物業》 丸山光男氏（高井戸） 他 32 名

《金属商》 関口景三氏（葛西） 他 1 名

エ 東京防犯協会連合会長賞（防犯功労バッジ）

高橋伸治氏（久松防犯協会長） 他 162 名

（2） その他の表彰

ア 叙勲

該当者なし

イ 国家褒章

藍綬褒章（防犯功労・令和4年11月3日）

福田隆男氏（志村防犯協会長）

ウ 警察協力章（令和4年7月4日：生活安全部長室）

竹内宏一氏（原宿防犯協会長）

エ 警察庁長官、全防連会長連名表彰（令和4年9月29日：明治記念館）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式典を縮小して金章、防犯
功労団体並びに防犯ボランティア団体表彰を実施した。

（ア） 防犯荣誉金章

丸 哲夫氏（愛宕防犯協会会長） 他 7名

（イ） 防犯功労団体

池袋西地区環境浄化推進委員会（代表：外山克己）

武蔵野ワンワンパトロール隊（代表：織井隆司）

（ウ） 功労ボランティア団体

五日市防犯協会（会長：栗原一雄）

富坂防犯協会（会長：島川健治）

西糀谷二丁目町会（代表：杉原茂登樹）

（エ） 防犯荣誉銀章

柳 康夫氏（南千住防犯協会会長） 他 15名

オ 全防連会長表彰（令和4年9月29日 式典なし）

防犯荣誉銅章

高橋伸治氏（久松防犯協会会長） 他 47名

カ 関東管区警察局長、関東防犯協会連絡協議会会長連名表彰

新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しつつ警視庁本部で規模を
縮小して式典を実施した。（令和4年5月27日）

（ア） 防犯功労団体

東村山警察署管内防犯協会（会長：漆原次男） 他 3協会

（イ） 防犯功労者

内田 智氏（八王子防犯協会会長） 他 29名

（ウ） 特別功労者

清水美江子氏「大崎わが町パトロール隊」会長

吉崎道子氏「P S I 池上自主防犯パトロール隊」会長

石森 宏氏「N P O法人 ゼファー池袋まちづくり」会長

（エ） 特別功労団体

自由が丘商店街振興組合（碑文谷）

早稲田南町パトロール隊（牛込）

沼袋親和会防犯パトロール隊（野方）

上野六丁目防犯パトロール隊（上野）

旭町二丁目町内会（町田）

キ 東防連会長表彰

（ア） 鶴見一三氏（東防連副会長・大井防犯協会会長）6/8

（イ） 羽住奎氏（東防連副会長・綾瀬防犯協会会長）6/8

（ウ） 秋山精一氏（東防連常任理事・亀有防犯協会会長）6/8

（エ） 瀬口高雄氏（東防常任理事・尾久犯協会会長）6/8

（オ） 水原麟太郎氏（東防連評議員・築地防犯協会）6/8

（カ） 株式会社ウエラ名古屋（賛助会員）6/17

（キ） 警視庁職員信用組合（賛助会員）6/17

5 各地区防犯協会等が行う防犯活動に対する協力援助

（１） 犯罪の起きにくい社会づくりの推進

ア 街頭防犯カメラの設置促進

自治体、商店会等との連携を密にした犯罪の多発地域等に対する街頭防犯カメラの設置など、防犯環境の向上を働きかけを行った。

イ 規範意識の向上

関係機関・団体等と連携し、万引きを許さない規範意識の向上に努めるとともに、落書き等の除去や清掃活動を推進して地域の絆と社会環境の醸成を図った。

ウ 各地区防犯協会組織の強化促進

新たに結成された若い世代や現役世代の防犯ボランティアと連携・支援を強化するとともにその活動を支援するため、広報用の防犯グッズ等を作成配付し、組織の活動力の強化と活性化に努めた。

（２） 全国地域安全活動並びに各季地域安全運動等への協力

地域安全運動の広報活動用品として、マスク入り防犯チラシ、防犯標語入りLEDライト付きキーホルダーを作成配付し、各地区防犯協会の行う防犯活動に協力した。

併せて、東京都警備業協会、東京都遊技業協同組合、暴力団追放運動都民センター、東京都自転車商防犯協力会の協力を得て

○ マスク入り防犯チラシ

70,000枚

○ LEDライト付きキーホルダー 10,000個

○ LEDライト付きキーホルダー 75,000個

(振り込め詐欺、暴力団追放、自転車盗防止用)

(3) 地区防犯協会等相互の連携活動の強化推進

11月4日、第六方面防犯連絡会議(当番：南千住防犯協会)から順に各方面ごとに防犯連絡会議及び懇親会を開催し、指定された二協会から全国地域安全運動に向けた事前活動や期間中の好事例などを発表した。

(4) 防犯資器材等の紹介及び幹旋

令和4年度中、各種会議の際に各種防犯資器材幹旋用のチラシを配付し、廉価で購入できる幹旋を行った結果は次のとおりである。

ア 「防犯カレンダー」…………… 6,636部

イ 「防犯手帳」…………… 2,342冊

ウ その他(防犯腕章、ミニ懸垂幕、スタンドポリス等の幹旋…3団体)

(5) 防犯連絡所の助成

防犯連絡所の設置及び防犯活動推進員等に関する要綱に定める諸活動の協力に対し謝礼として、東京都の補助金を運用して各地区防犯協会防犯活動推進員等に防犯カレンダー70,000部を配付した。

(6) 青色防犯パトロール車の整備

石神井防犯協会 1台(令和5年2月28日納車)

(7) 各種行事に対する協力

例年、東防連友誼団体の行事に参加しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため下記のとおりほとんどが中止となった。

○ 太田前会長お別れの会(8/1)

○ 東京古物商防犯連合会賀詞交換会(中止)

○ 東京都遊技業協同組合賀詞交換会(中止)

○ 東京母の会連合会新春懇親会(中止)

○ 東京都セキュリティー促進協力会新年懇親会(中止)

○ 東京金属防犯連合会賀詞交換会(中止)

○ 東京質屋協同組合新年会(中止)

○ 東京質屋協同組合防犯功労表彰式参加3/30

※ 全国地域安全運動に伴う区市町村単位で大規模で実施するつどい、キ

キャンペーン等は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、小規模単位での活動を実施した。

6 各種犯罪の予防及び検挙活動に対する協力援助

(1) 振り込め詐欺及び街頭・侵入犯罪等の被害防止活動の推進

振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺の被害増加に伴い広報誌「家庭と防犯」を発行し、被害実態及び「犯抑だより」を掲載して、広く都民に振り込め詐欺の最新の手口などについてタイムリーな広報啓発活動を実施している。

(2) サイバー犯罪対策に対する協力

東防連サイバー対策特別部会の部会員の退任に伴う再委嘱を行うとともに広報誌「家庭と防犯」の読者に警視庁サイバーセキュリティ対策本部から最新の情報提供を行い違法・有害情報の提供を求めている。

(3) 子供や女性の安全確保に関する諸活動への協力

広報誌「家庭と防犯」誌上に前兆事案や犯罪状況、安全確保に関する防犯記事を掲載したほか、広報活動を推進するための防犯活動用品の配付を行った。

(4) 危険ドラッグや覚せい剤等薬物乱用根絶、不法銃器排除活動への協力

各地区防犯協会及び関係団体等と協力しながら、危険ドラッグや覚せい剤等薬物の根絶、不法銃器排除活動のための資料を配布した。また、広報誌「家庭と防犯」誌上に関連の記事を掲載するなど広報啓発活動に協力した。

(5) 不良外国人犯罪に係る防犯対策への協力

各地区防犯協会、関係団体及び防犯ボランティア等と連携しながら警視庁が行う各種対策に積極的に協力するとともに、風俗環境浄化部で実施する管理者講習会において不法就労防止に対する啓発活動を行った。

(6) 暴力団排除活動の広報活動

都民の暴力団排除意識の高揚を図るため、暴力団追放活動に関する広報を広報誌「家庭と防犯」誌上に掲載するとともに、(公財)暴力団追放運動推進都民センターと連携し暴力団排除啓発LEDキーホルダーを作成配付し、暴力団追放活動に協力した。

(7) 職域防犯協力団体等との連携強化

東京母の会連合会、東京都セキュリティ促進協力会、東京質屋防犯協力会、東京都古物商防犯連盟、東京金属防犯連合会、東京都警備業協会、東京タクシー防犯協力会、東京都自転車商防犯協力会、東京都遊技業協同組合等の団体と連携し、犯罪防止活動の推進及び各種行事に対する協力援助に努めた。

(8) 東京都安全・安心まちづくり協議会に対する協力援助

令和4年7月6日(水)東京都庁内で行われる予定であった第20回東京都安全・安心まちづくり協議会総会については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン開催とされた。

7 少年の不良化防止及び補導活動に対する協力援助

(1) 少年の健全育成活動

ア 本年度から「少年の健全育成をめざす全都大会」と「子供を守るTOKYOキャンペーン」は統合し「TOKYO少年ネットルールフォーラム」として2月15日(水)三鷹市公会堂「光のホール」において開催した。

イ 第59回親と子の警察展への参加

少年の健全育成活動の一環として、例年、東京スカイツリータウン東京ソラマチ5階「スペース634」で開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため11月20日(日)オンラインよりゲストに子役の村山輝里さんを迎えての開催となった。

同展については広報誌「家庭と防犯」2月号に少年の健全育成関連記事として掲載し広報啓発活動に努めた。

(2) 少年体育の推進

ア 第74回東京少年野球地区大会の開催

7月から翌年2月にかけて、各地区防犯協会単位で実施した。

開催防犯協会に対して、東防連会長名のトロフィー及び優勝楯の贈呈及び、ナガセケンコー株式会社から寄贈された野球ボールをそれぞれ配付した。(令和5年3月末日までの集計結果)

○ 開催防犯協会	36 協会
○ 参加チーム	631 チーム

〔内 訳〕

高校生 …………… 7 チーム

中学生 …………… 130 チーム

小学生 …………… 494 チーム

○ 参加人員 …………… 10,727 名

(広報誌「家庭と防犯」12月号で大会結果を紹介)

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会規模の縮小や計画の中止、1回戦のみ実施したチームもあった。

イ 第50回東京少年柔道・剣道錬成大会の開催(東京母の会連合会との共催)
警視庁、自警会、(公財)日本武道館の後援を得て7月25日(月)
日本武道館において規模を縮小して開催された。

大会会長(東防連会長)の開会挨拶、警視総監、東京都生活文化スポーツ局生活安全担当局長の来賓挨拶、選手宣誓の後、柔道・剣道の団体試合が行われ、各部門の表彰を行い大会の幕を閉じた。

○ 参加人員 1,941 名

○ 参加選手 830 名

[内訳]

☆柔道 412 名

☆剣道 418 名

○ 団体参加チーム

☆柔道 78 チーム

☆剣道 82 チーム

○ 保護者等 1,111 名

○ 柔剣道指導者指導者に対する会長賞

閉会式においては、団体試合、優秀、優良、敢闘の各賞を贈ったほか、参加全員に参加賞を贈って激励した。

ウ 各地区防犯協会における少年柔道、剣道の訓練活動に対する支援

各地区防犯協会においては、少年非行防止と健全育成に寄与するため、地元警察署と一体となって少年柔道・剣道を推奨するとともにその活動を支援している。また、警視庁本部の指示により新型コロナウイルス感染症拡大防止の徹底を図りながら訓練を行った。

(3) 「東京万引き防止官民合同会議」に対する協力援助

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら11月30日(水)グランドアーク半蔵門において実施された。

- (4) 東京都「第25回子どもに万引きをさせない連絡協議会」に対する協力援助

子供に万引きをさせない連絡協議会の委員として活動しており、本年11月28日(月)都庁会場及びWEBにより同時開催された会議に出席した。

- (5) 東京都の暴走族追放に対する協力

東京都・警視庁が実施する「令和4年東京都暴走族追放強化期間」を推進に協力するため、6月1日から1か月間「令和4年東京都暴走族追放強化期間」啓発ポスターを掲示する他、広報誌「家庭と防犯」6月号に「警視庁からのお知らせ」として、同広報啓発ポスターを掲載し暴走族追放に向けた機運の高揚に協力した。

第2 風俗環境浄化部

1 風俗環境浄化部の重点

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)第39条第2項に掲げる事業については、東京都風俗環境浄化協会で定められた管理者講習や調査等の委託事業を重点として活動を行った。

- (1) 委託事業

ア 風俗営業所の管理者に対する講習

受講見込数2,413人を対象に定期講習等 34回

イ 調査活動

(ア) 風俗営業所の許可申請及び特例風俗営業者の認定申請に伴う

風俗営業所の構造設備の基準等の調査(再調査を含む) 945件

(イ) 風俗営業所の構造設備の変更申請に伴う調査

(再調査を含む) 130件

(ウ) 特例風俗営業者の認定申請に伴う調査 4件

計 1,079件

- (2) 風俗環境に関する苦情処理

住民、営業所等から風俗環境に関する苦情を受理し、警察署等に連絡するなどして、その解決に努めた。

- (3) 風俗環境に関する啓発活動

業界団体を通じて、風俗環境浄化意識の高揚を図るほか、暴力団の排除、街頭での客引きやビラの配布等の一掃を呼びかける広報紙等の発行を行った。

(4) 少年補導委員の活動の援助その他

少年補導委員の行う非行少年等の補導、風俗営業者等に対する協力要請、有害環境の浄化活動等に対する協力援助等を行った。

2 事業結果

(1) 委託事業

ア 風俗営業所の管理者等に対する管理者講習については、令和4年度は新型コロナウイルスの影響で4月は実施できなかったが、5月以降は計画どおり実施した。

イ 風俗営業所に対する調査については、風俗営業所の許可申請、構造設備変更承認申請及び特例風俗営業者の認定申請に伴う構造申請の基準、地域、設備等の規制の有無の調査については、許可申請945件、構造設備変更承認申請130件の計1,079件を実施した。

(2) 関係機関、団体等と連携した風俗環境浄化活動の推進

関係機関等と連携した住民等からの風俗環境に関する苦情を適正に処理するとともに、管理者講習等を通じて暴力団の排除、少年の健全育成のための啓発活動を行うなど、風俗環境浄化活動を推進した。

第3 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

1 東京都安全・安心まちづくり協議会等への参画と協力・援助

東京都における「東京都安全・安心まちづくり協議会」、「東京子ども応援協議会」、「首都交通対策協議会・暴走族対策会議」等への幹事会、総会等に参画し各種行事の協力援助を行った。

2 全国防犯協会連合会及び関係団体の会議、行事への参画と協力

全国防犯協会連合会主催の都道府県専務理事・事務局長会議及び風俗環境浄化事業運営管理者研修会(7/21)文京区の東京ガーデンパレスで開催され、他道府県との情報共有を図った。

(1) 関東防犯協会連絡協議会総会等への参画と協力

6月24日(金)、埼玉県さいたま市所在、関東管区警察局内で実施された関東防犯協会連絡協議会総会及び地域安全研修会に参画し管区内の

各県防犯協会との意見交換を実施し連携に努めた。

(2) 暴力団排除関係団体等連絡会議への参画と協力

暴力団追放運動推進都民センターの理事会、連絡会議、暴排セミナー、暴力団追放都民大会等については、新型コロナウイルス感染対策を実施しつつ参画と協力を行った。

(3) 犯罪被害者支援事業に対する協力

東京都犯罪被害者支援連絡会総会や幹事会及び公益財団法人被害者支援都民センターの理事会、総会、連絡会等に参画するとともに、警察、関係機関、民間団体が相互に協力しながら実施している被害者支援対策について、広報誌「家庭と防犯」11月号に掲載して被害者支援意識の醸成を図るなど犯罪の被害防止活動の支援を行った。